

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.9
1 音環境		2.0	0.15	3.2	1.00	2.9
1.1 騒音	(共用部)共用玄関・廊下(ロビー):50dB(A) (住居部)居室:40dB(A)	3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音		1.0	0.50	2.4	0.50	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		1.0	0.35	3.0	1.00	2.5
2.1 室温制御		1.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温		1.0	1.00	-	-	
2 外皮性能		-	-	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.1	1.00	3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30	2.5	0.30	
1 屋光率		-	-	2.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	(共用部)庇	2.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御	(住居部)カーテン+庇(バルコニー)	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	(共用部・住居部)F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1 機能性		3.5	0.40	2.8	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を満たす	5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	(住居部)2.52～2.62m	-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	①なし ②なし ③適度な水使用可(ビニル床シート) ④ホコリの溜まりにくい設計 ⑤なし ⑥一室で異なる床材の使用なし ⑦なし ⑧バルコニー設置により壁面汚れ防止 ⑨なし ⑩垂鉛めっき処理 ⑪極力段差のない動線 (特定建築物に該当しない) ①清掃用具庫(倉庫、外部倉庫)設置 ②なし ③便所、ごみ置場に適当な水勾配を計画 ④ごみ置場設置 ⑤なし ⑥共用部にコンセント設置 ⑦バルコニー設置により給排水口、 ガラスの安全な維持管理作業 ⑧各排水トラップ取外し・清掃可 ⑨必要機器、操作容易な位置 ⑩なし ⑪諸設備、共用部維持管理可(MB)	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
				3.2	0.30	2.6	1.00	2.7
3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり		-	-	2.2	0.50		
	1 階高のゆとり		-	-	3.0	0.60		
	2 空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性		3.2	1.00	-	-		
	1 空調配管の更新性	二重床構造	3.0	0.20	-	-		
	2 給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-		
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-		
集合住宅の評価(3c)			5.0	1.00	-	-		
LED照明の採用			3.0	0.20	-	-	3.0	
4 効率的運用			-	-	-	-		
集合住宅以外の評価			-	-	-	-		
4.1 モニタリング			-	-	-	-		
4.2 運用管理体制			-	-	-	-		
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-		
壁・天井・木組下地			3.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
1 消火剤			-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-		
3 冷媒			3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-	3.8	
LED照明の採用			3.0	0.33	-	-	3.0	
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-		
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-		
I 1) 自転車・単車置場の設置								
II 1) 適切な量の駐車スペース								
3) 導入路の位置や形状への配慮			3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	1.00	-	-		
2 振動			-	-	-	-		
3 悪臭			-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制			-	-	-	-		
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		